

ボランティア募集！！

昭和47(1972)年から令和元(2019)年までの48年間にわたり、肢体不自由児と障がいのない子どもが親元を離れ体験する、夏7泊8日、冬2泊3日の共同生活を子どもたちと一緒に創ってきた‘きぼっこキャンプ’です。コロナ禍にあつて2年間休止していましたが、新しい‘出会い’と‘感動’を求めて、今年夏季の4日間から再開します。

第49回きぼっこキャンプ実施計画書より

1. 趣 旨

- (1) 豊かな自然と青少年活動に熱意と関心を持ち、選ばれて訓練を受けたキャンプリーダーの援助のもとに、障がいがあるものと障がいのないものが共に楽しい集団生活を送り、のびのびと明るく、そして強く成長することを願う。
- (2) キャンプ生活を通じて生活経験を広げ、活動と話し合いの中から相互理解を深め合い民主的な共同生活の責任と連帯を養う機会となることを願う。
- (3) 地域社会との関わり合いの中から正しい相互認識と、人間社会の多様性を学び、社会連帯感を強めることを願う。
- (4) 障がいのある子ども(主に肢体不自由児)と障がいのない子どもとが正しい相互理解の上に立ち、新しい価値観を獲得することを願う。

■「障がいのある子ども」に対して

- (1) 様々な体験をすることで、経験の範囲が広がり、成長の糧となること。
- (2) 同年代の多くの子どもの考え方や生活にふれ、生きていく上での刺激を受けること。
- (3) 集団の中で、多くの仲間と行動を共にすることで、対人関係の機微を身につけ社会化されること。
- (4) 「障がいのない子ども」と体験を共有することで、社会参加への自信と意欲が高められること。

■「障がいのない子ども」に対して

- (1) 「障がい」を観念的に理解するのではなく、人間性を認め合い、共感的に理解することが出来ること。
- (2) 社会的不利を生み出す要因や、ノーマライゼーションの思想に触れ、人権保障の意識を高めるきっかけとなること。
- (3) 「障がいのある子ども」と体験を共有することで、自身の生活を省みる機会となること。

2. 主 催：社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会 肢体不自由児協会事業
きぼっこキャンプ実行委員会

3. 後 援：宮城県肢体不自由児者父母の会連合会

4. 期 間：夏季キャンプ(宿泊期間と合わせて4日間で実施)
I 7月23日(土)9:00~15:00 顔合わせ、ネーム付け等

- Ⅱ 8月7日(日)9:00~15:00 レクリエーション、宿泊のプログラム立案
Ⅲ 8月13日(土)~14日 1泊2日

秋季キャンプ(未定) 10月~11月(参加者と計画) 日帰り

5. 会場: 夏季キャンプ I・II 宮城県障害者福祉センター(宮城野区幸町)
III AONE×MATKA(柴田郡川崎町)
6. 対象者: 宮城県内の小学校5年生から高校3年生までの肢体不自由児と障がいのない子ども
合わせて6~7名(キャンパーと呼びます)
7. その他 コロナ感染状況により、日程変更等があります。

キャンパーといっしょに'きぼっこキャンプ'を創ってゆく

ボランティアリーダーを募集しています!!

- * お兄さん、お姉さんのような存在
- * 役割を担う(グループリーダー、プログラムリーダー・・・)
- * 必要に応じて介助(移動、食事、トイレ等)

※きぼっこキャンプのことを理解してキャンパーと仲良くなるために、そしてチームワークを培ってきぼっこキャンプを創ってゆくために、土曜日中心にトレーニング等をおこないます。トレーニング会場は、宮城県障害者福祉センター(宮城野区幸町)です。

トレーニング5回、ミーティング1回

6月25日、7月2日 15:00~19:00

7月3日(日) 10:00~15:00 キャンプサイトの視察

7月9日・16日・30日 17:00~20:00

◇より多くトレーニングに参加可能な方6~7名(男女各3~4名程)に参加いただきます。

関心がある方、参加希望者は、事務局まで電話かメール願います。

*説明・参加日程の確認等をおこない、定員に達した時点で締め切りとなります。

事務局:

〒983-0836

仙台市宮城野区幸町4丁目6番2号 宮城県障害者福祉センター内

社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会 肢体不自由児協会事業

きぼっこキャンプ担当 末田(すえだ)耕司

TEL 022(293)2902

E-mail kibounoko@shinsho-miyagi.or.jp

